

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 黒須一夫
幹事 大口弘和
会報委員長 秋山茂則

ロータリーを楽しもう!
ENJOY ROTARY!

No. 4

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第346回例会 平成元年 7月25日(火) 曇/雨

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 59(58)名 出席 43名

出席率 74.14%

前回 7月18日 (修正出席率)98.28%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

尾関君(7/19)、大口夫人(7/27)、

小池君(7/28)、笹野君(7/30)

◇ ニコボックス

大口 弘和君 本日のスピーカー 原田 雅司氏をご紹介いたします。夫人誕生日祝い。

太田 茂君 7月22日(土)、成田さん津島まつりありがとうございました。

尾関 武弘君、小池 宗君、笹野 義春君 誕生日祝い。

◇ 大口幹事報告

1. 本例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F楕の間にお集まり下さい。

◇ 黒須会長挨拶

“還暦雑感”

私もついに本年還暦を迎えた年になりました。年月のたつのが速いことを今さらながらおどろいております。

還暦の「えと」は10千12支の組合わせでありまして、もと中国の年代の計算で用いられたようであります。

10千は陰陽道の五行の木・火・土・金・水とそれぞれ2つの兄(え)、弟(と)とわけた甲(コウ)乙(オツ)丙(ヘイ)丁(テイ)戊(いぬ)亥(い)の12種であり、ねこはありません。この千支の組合わせで年代を表しています。両者の最小公倍数が60となり、これを1単位として61年目は還暦となるのであります。

すなわち、還暦は千支による一つの暦のサイクルであり、再び0に還る。つまり、人生の「生まれ変わり」であるからお目出たい年だと慰められるわけであります。

しかし、当人はなんとなく「いよいよ老いがやってくる」という思いにかられるのであります。

当節の平均寿命からすると男子78.13歳、女子83.58歳であります。

この60歳はまだ「老い」を語る年齢ではないかも知れませんが、還暦という言葉におどろかされてしまうのである。とくに還暦の祝いなどされると、今度は不安を感じるようになってしまいます。

本年還暦になった永井さん、太田さん、杉山さん、竹内さん、その前になられた方々、如何がでしょうか。

そうでなくとも、50歳の声を聞くと、社会的にも、何かにつけ、40歳代とは違った別の顔をもたなければならぬような気がするから不思議であります。

昔より「人生50年」とか、人間50年、下天のうちにくらぶれば夢まぼろしのごとくなり幸若舞。「人生50年、功無きを恥じ」とか言われてきたために、先入感が入ってきて、周曲からも自分も重荷をしょったような感じになるのであります。

実際に50年代を10年間生きてきた感じとしては、50半ばまでは、心身ともに充実していて前方をみて突進し、後をふりかえる余裕はありません。若いものに負けない気力と、少し無理しているが体力を保持できていたと自負していたつもりであったのですが。

60になるとそうはいかなくなり、子供らに少しねぎらいの言葉をかけられるとガックリする年齢になったわけです。

零年に生まれ変わるといわれても、60年生きてきた経験から、新しい人生、残る人生をいかにうまく結実されるかという気持は、これからの将来のことであり、経験していないための不安が心の隅に生ずるためでありましょう。

これから私の還暦以後に心に決めたことはできるだけ過去の回顧にひたらないよう、これを排除しようと決めております。これは、人間は年をとるに従い、何事によらず、今より昔の方がよかったと思ひ込むものであるらしいと谷崎潤一郎が陰翳礼讃のでべております。

最後Goethの詩(竹田亮祐訳)を引用させていただきます。

“古い”は礼儀をわきまえた来訪者

2度も3度もノックする。

だが誰も「おはいり」とは言わないので

扉の外に立ちん坊はご免というわけ

自分で把手を廻してははいてくる

その足どりがあまり早いので

そこでこうなる

“古い”は礼儀知らずの来訪者

◇講演

“高齢化社会への対応”

愛知県民生部高齢化対策室長

原田 雅司 氏 (紹介 大口君)



今や、我が国の平均寿命は80才を越え、まさしく“人生80年時代”が到来しました。“人生50年”といわれた時代は遠い昔となりました。これからは、高齢者の方々が住みやすい

明るい長寿社会を築き上げて行くことが、私どもの重大な課題となって来ます。元気で長生きし、いつまでもバリバリ仕事を続けられることは、私どもの偽らざる願いであると思っております。

しかし、人間が生き物であるかぎり、老いることを避けることは出来ません。生を受け、幼児期、思春期を経て成年期、初老、老年と至り、遂には死を迎えます。これは我々人間の宿命です。

21世紀の初頭には、我が国がかって経験したことのない高齢化社会を迎えることとなります。人口の1/4は老人で占められ、これらの方々を若者が2～3人で支えなければならぬ時代が来る訳です。

人間、長生き出来ることはありがたいことですが、反面、肉体的にも精神的にも機能が低下することはまぬがれません。いつまでも元気で長生きし、死に至るときに誰にも迷惑をかけず、安らかに死んで行けたらこれに優るものはありません。ある人は言いました。

これを「直角死」とであると。しかし、すべての人がこのように死ぬるとは限りません。徐々に老いて死に至る訳です。

そこで、私どもはこれから高齢化社会に向けていろいろ対策を講じて行かなければなりません。大別いたしますとその一つは、寝たきりになったり、痴呆になった方々への対策と一般の高齢者の生きがい対策などであります。もう一つは、高齢者を含め、すべての方々が長寿を喜び、明るく、活力のある高齢化社会を築くための対策であります。

誰もが自分の育った地域で生きがいを持って生活し、体が弱ってもその場所で死ぬまで世話していただけることを願っているものです。そのためには、地域に生きがい活動推進施策などを設け、就労の場の提供や、健康づくりなどを図って行くことを始めとし、介護を必要とする寝たきり老人のための入所施設や、自宅から通ってお世話が受けられるデューサービスセンターなどを設ける他、ホームヘルパーの充実などを図ることにしています。

一方、明るい長寿社会を構築するために、すべての関係機関が連携を図りながら総合的に取り組める組織づくりが始められています。又、これからは高齢者のためのシルバーサービス企業も大いに進展するものと思われますし、高齢者にとって住みよい環境や街づくりも積極的にすすめて行かなくてはなりません。

いずれにしましても、私ども今の熟年層は来たる21世紀の高齢者の大部分を占める人たちであることを肝に命じておきたいものです。

◇例会変更のお知らせ

- | | |
|---------|--|
| 名古屋中RC | 8/7(月)名古屋・中・大須RC合同例会の為、8/8(火)PM 12:30より |
| 名古屋大須RC | 8/10(木)名古屋・中・大須RC合同例会の為、8/8(火)名古屋観光ホテルにてPM 12:30より |
| 名古屋港RC | 8/11(金)休会 |
| 名古屋守山RC | 8/12(土)休会 |
| あまRC | 8/14(月)納涼夜間例会の為、8/11(金)PM 6:00より |
| 名古屋中RC | 8/14(月)お盆休みの為、休会 |
| 名古屋東RC | 8/14(月)お盆休みの為、休会 |
| 名古屋空港RC | 8/14(火)休会 |
| 名古屋RC | 8/15(水)休会 |
| 名古屋名東RC | 8/15(水)休会 |
| 豊山城北RC | 8/15(木)お盆休みの為、休会 |

◇次回例会(8月1日)

クラブフォーラム(職業、社会、青少年、国際奉仕委員会報告)

◇次々回例会(8月8日)

創立7周年記念例会(夫人同伴)